

# 監査事務局 令和8年度 局運営方針（案）

## 1 主な現状と課題

本市の財政状況は、基幹的な歳入である市税収入において、転入人口や個人所得の増加等による增收が見込まれるもの、歳出では、人件費や扶助費を中心とした義務的経費の増加のほか、物価・資材価格の高騰や賃上げ等による事業費変動など多くの財政需要が見込まれ、引き続き厳しいものになると想えられます。

このようなことから、市の事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保し、住民の福祉の増進に資することを目的とする監査委員による監査・検査・審査は、重要性を増しており監査機能の充実が求められています。

### （1）適正かつ効果的な監査等の実施及び監査技術の向上

市の財務に関する事務の執行等について、さいたま市監査基準に従い、合規性及び正確性はもとより、経済性、効率性及び有効性の視点も考慮し、適正かつ効果的な監査等を実施します。

また、監査技術の向上を図るため、外部機関が主催する研修等に積極的に参加するとともに、国や全国の各都市からの情報収集に努め、専門性の高い事務局職員の育成に努めます。

さらに、監査等の結果に関しては、議会、市長、市民等に提出するとともに、指摘事項等を全庁に周知することにより、事務処理誤りの予防に努めます。



決算審査意見書



工事監査現場調査



定期監査実地調査（公営企業会計）



定期監査実地調査（一般会計）

## 2 基本方針・区分別主要事業

市の事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保し、住民の福祉の増進に資するようにするため、監査委員及び事務局職員の監査技術の向上を図り、適正かつ効果的な監査等を実施します。

### (1) 適正かつ効果的な監査等の実施及び監査技術の向上

\*( )内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和8年度	令和7年度	説明	掲載 ページ
1		監査事務局運営事業 〔監査課〕	8,670 (8,670)	8,787 (8,787)	市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びに市の事務事業の執行等について監査等を実施します。また、外部機関の研修等に参加し、監査技術の向上を図ります。	II-576

〔区分〕新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

### 3 脱炭素化に資する主な取組一覧

(単位 : kg-CO<sub>2</sub>)

課名等	事業名	取組の内容	CO <sub>2</sub> 削減量
監査課	電気自動車の利用	往査時に電気自動車を利用することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	21.5
監査課	定期監査等における提出書類のデータ化	監査に係る所管課からの調査書類について、従来の紙提出からデータ提出とし、紙の使用量を削減することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	4.5
監査課	決算審査資料の印刷枚数削減	決算審査に係る資料の印刷枚数を削減することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	2.9

### 4 見直し事業一覧

(単位 : 千円)

事務事業名	主な事業	主な見直しの理由及び内容	見直し額
監査事務局運営事業	監査事務	印刷枚数を見直し、トナー等の購入本数を減らすことにより、予算額を縮小する。	△ 63

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	監査事務局運営事業	予算額	8,670
局/部/課	監査事務局/監査課	[財源内訳]	
款/項/目	2款 総務費/8項 監査委員費/1目 監査委員費	- 一般財源	8,670
<事業の目的・内容>			
	市の事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保し、住民の福祉の増進に資するようするため、監査委員及び事務局職員の監査技術の向上を図り、適正かつ効果的な監査等を実施します。		
		前年度予算額	8,787
		増減	△ 117

&lt;主な事業&gt;

1 監査事務	8,670
	市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びに市の事務事業の執行等について監査等を実施します。また、外部機関の研修等に参加し、監査技術の向上を図ります。